もぎたて通信

令和８年１１月１３日
長崎市立茂木小学校
発行　校長　松尾伸章
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

「秋澄むや 心をひとつに 響く音」

暦の上では立冬を過ぎ、朝晩の冷え込みとともに空気はいっそう澄み渡ってきました。この澄んだ秋の空気に負けないほど、透明感あふれる美しいハーモニーが大きなホールいっぱいに響き渡りました。

本校の代表として大舞台に立った４年生は、練習の成果を存分に発揮し、聴く人の心を動かす感動的なステージを創り上げてくれました。大きな拍手を浴びて戻ってきた子どもたちの表情は、達成感と自信に満ちあふれていました。

この４年生の姿に象徴されるように、今、学校全体が活気と充実感に包まれています。低学年はのびのびと、中学年は互いに高め合いながら、そして高学年は高学年としての頼もしさを発揮しながら、全学年がそれぞれの持ち味を輝かせています。２学期も後半に入りましたが、全校一丸となってさらなる成長へとつなげてまいります。

4年生　小音会チャレンジ　大成功！



１１月１１日（水）、４年生は、長崎市小学校音楽会に茂木小学校の代表として出場しました。発表した曲は、ご存じのとおり、茂木ふれあいまつりでも披露した合奏「オーラ　リー」と斉唱「チャレンジ！」です。

９月からこの長崎市小学校音楽会での発表にチャレンジしてきた子供たちですが、見事に大成功で締めくくることができました。ブリックホールという大きな舞台の緊張にも負けず、仲間と息を合わせて堂々と演奏する姿はたいへん立派で、学校代表としての誇りとこれまでの練習の積み重ねが伝わってくる発表でした。表現力豊かに全身を使いながら、観客を魅了するすばらしい発表ができました。本番でいちばん最高の演奏ができたと思います。たいへんよく頑張りました！



当日の朝は、全学年のみんなが４年生の出発を玄関で見送ってくれていました。４年生の大舞台での活躍は、茂木小学校みんなの応援のおかげでもあります。４年生が学校の外で大きく羽ばたいたこの経験は、校内の他の学年にも良い刺激を与えています。４年生の頑張りを追い風に、全校児童一人ひとりがそれぞれの目標に向かってさらに大きく成長する実りの秋にしていきたいと思います。

6年生　最挑・最協・最笑の修学旅行



１１月５日（木）から６日（金）の１泊２日で、６年生が熊本へ修学旅行に行ってきました。

残念ながら１日目は雨が降って少し残念なところもありましたが、子供たちは全員元気に参加することができ、充実した２日間を過ごしました。

１日目は、まず熊本城へ行き、ぎんなんで昼食バイキング、そして天守閣などを見学して学習を深めました。それから阿蘇へ向かい、エルパティオ牧場で乗馬体験。夜は、ホテルで美味しい食事をいただいたり、温泉に入ったり、仲間との楽しい時間を過ごしました。

２日目は、まず草千里ヶ浜に向かい、途中放牧されたたくさんの牛や馬たちを見て歓喜しながらも、阿蘇の自然の雄大さを感じ取っていました。その後、トロッコ列車に乗って再び歓喜しながら、絶景を堪能しました。最後は、阿蘇ミルク牧場で昼食バイキングを堪能したり、牧場内を散策して動物たちと触れ合ったり、阿蘇の魅力を満喫しました。

子供たちは、学級で決めたスローガン「やるべきことをやる修学旅行～最挑・最協・最笑～」をもとに、様々な見学場所でマナーを心がけ、最高のワクワクした好奇心をもって体験や見学に挑戦し、仲間との最高の協力を意識し、バスの中でもみんなで仲良く盛り上がりながら楽しい時間をつくっていました。そして、みんな元気に、安全に、最高の笑顔で茂木に帰ってくることができました。子供たちがたくさん成長できた、たいへん良い修学旅行になりました。

令和8年度小学生による「まちづくり」アイディアコンテスト

「市長さんに提案しよう」ということで、令和８年度小学生による「まちづくり」アイディアコンテストに出品した、本校のリーダーである６年生の作品が「優秀賞」に選ばれました。

作品は、次の通りです。

長崎びわオーナー制度

茂木小学校　６年　MS

ぼくが住んでいる茂木小学校は、美味しいびわがたくさん育っています。そして、学校の授業で毎年びわが育っている場所に行き、そこで自分たちでふくろをかけたりして、よく育ったら、みんなで作ったびわを食べられます。ですが、今茂木地区の農家さんたちは、高齢化が進み、びわを作る人が少なくなっています。そこで、長崎びわオーナー制度を提案します。

① 市民や県外の方が１年間びわのオーナーになる。
② 花や実を観察する。
③ 自分の木のびわを収穫する。
④ びわジャムやびわゼリーを作る。

など、１年間を通してびわ作りを体験できます。県外の人には、アプリで今日のびわの様子を見ることができて、収穫したらびわが届きます。こうすることによって、びわに興味を持つ人が増え、今手つかずになっているびわ山を活用することができます。

茂木を愛する気持ちが伝わってくる、すばらしいアイディアの作品です。市議会議員さんからも「茂木の特産品であるびわを、オーナー制度で農家の応援や地域交流につなげる発想がすばらしいですね。今ある地域の宝を生かす、実現を検討する価値ある提案だと思います。ふるさとを大切にする気持ちを、これからも持ち続けてください。」と感想をいただきました。ふるさとを愛する豊かな心とすばらしいアイディアをもった茂木っ子たちを誇らしく思います。

この作品を含む優秀賞２０作品と佳作１０６作品は、令和９年１月７日（木）８：１５～１月１３日（水）１６：００まで、長崎市役所１９階ギャラリーウォールにて展示されるそうです。よろしければ、ご観覧されてみてはいかがでしょうか。